討しています。 す予定です。 洗い出し、方向性の素案を打ち出 今年度中に課題を

施設整備の年次計画を検

○子育て支援につい -設置につ つい



議員

ため無料クーポン券、 期治療が重要です。 至ってしまいます。 め発見が遅れ、 しているガンで自覚症状が無いた ガンは20~30歳の若い女性に急増 性の死亡原因トップです。子宮頸 人が罹患し、1万人が死亡する女質問。 乳ガンは1年間に3万5千 配布についてお伺いします。 子宮摘出や死亡に 早期発見、 受診率向上の 検診手帳の

ます。 付します。 をまとめた検診手帳を対象者に交 度から推進します。 ものの県平均より下回っておりま 8月から無料検診の実施を目指し ポン券を対象者に7月中に送付し、 しております。 検診率向上のためあらゆる角 奥州市の受診率は毎年上 ガンの基本知識、 全国平均を上回る 検診無料クー 検診内容

子宮頸がん発症の年齢による変化

1992年

2002年

質問 就学前教育の無償化についてお伺 稚園の区別なく一元化することと いします。 認定子ども園」として保育園、 幼保一体施設におい

間の無償につきましては財政 育を行っております。 なっておりませんが保育と幼児教 しいと考えております。 スマートインターチェンジ 一認定子ども園」には 就学前3年 上難

ます。 都市機能の充実を図り、 マ かした経済活動を行うためにス の設置についての考えをお伺いし トインターチェンジを設置す 副県都を目指すためにも、 特性を活

生津地区治水対策に5億6千万円

的整備に3億6千万円、

前沢区赤

ア千万円、

江刺区稲瀬地区堤防質

ます。 考えているかお伺いします。 積していますが対応をどのように あったものと心から感謝申し上げ 通大臣への要望も大きな効果が 土交通省の配慮、さらに一昨年の 先人の長年の運動の積み重ねと国 の予算配分が決定になりました。 基盤整備、 容も示されていません。 ただし、赤生津築堤は未だ 議長、特別委員長の国土交 線形決定、 調査も行なわれず、工事内 住民合意など課題は山 用地買収、 内水処理

60~64

: 国立がんセンター

70~74

を進めております。 る可能性について関係機関と協議

取組みと成果について、ロスンジデーの、現状と課題について、ロセンターの





뤔

仕組み、 考えますがお伺いします。 ターのバランスの取れた予算配分 か疑問です。早急に見直し各セン 営交付金などが設定されているの ますが、何を根拠に人員配置、 れ江刺方式と水沢方式に分類され して全区に地区センターが導入さ 住民のコミュニティ活動の拠点と 質問 推進に努めてまいります。 地域の伝統を生かし、 業務の統 一を図るべきと 地域 運

實問 醸成するチャレンジデーの取り組 振興を図り奥州市の 生涯スポーツへの関心と善 一体感を

(人口10万人対)

発症年齢のピークが 30歳代にシフト

30~34

40~44

50~54

35

30 25

20

15

10

5

0 20-~24

生津地区北上治水同盟会と連携し

改良、

排水対策など検討を急ぎ赤



一関遊水地上流/赤生津付近(H14.7洪水)

いただけるように検討調整してま

意見を聞きながら理解して

いります。